

令和6年度 校長の学校運営方針

県立長岡高等学校長 長谷川雅一



1 校長として目指す学校像

米百俵の精神に基づき、人格高潔で人間的魅力に富み、世界を舞台に指導的役割を果たすことのできる人材の育成に努める。そのため、本物に触れる機会の充実により生徒の視野を広げ、チャレンジする精神を涵養するとともに、一人一人が真に「自立」できるよう支援・指導する。

- (1) 科学技術人材・グローバル人材の育成を柱とする「スーパーサイエンスハイスクール」(SSH)事業の各取組を適切に実行し、生徒の課題解決能力等を育成する。
- (2) 国内外の研修旅行、各種講演会等の機会を活用し、生徒に世界的視野・課題意識を身につけさせる。
- (3) 生徒の学力向上を図り、第一希望の進路実現を図る。
- (4) 知育・体育・徳育のバランス、「文武両道」の意義を再確認し、生徒を人間的に成長させるとともに、スポーツ・文化活動において全国レベルを目指す。

2 具体的な取組目標

(1) SSHの取組

- ・SSH事業第IV期2年目の取組を計画どおり進める。

【R4実績】【R5実績】 R6目標

(2) 学習指導に対する生徒・保護者の信頼の確立

- ・「主体的・対話的で深い学び」への授業改善
- ・授業満足度
- ・原級留置

【98.3%】【98.0%】 95%以上
【 3人】【 2人】 0人

(3) 進路指導の充実

- ・生徒の第一希望の進路実現
- ・大学等進学率
- ・難関国公立大学合格者
- ・医学部医学科合格者

【85.3%】【85.5%】 80%以上
【 32人】【 37人】 30人以上
【 11人】【 11人】 15人以上

(4) 生徒指導の充実

- ・あいさつの励行
- ・いじめの未然防止、早期発見、及び認知時の適切な対応
- ・中途退学者
- ・問題行動
- ・教育相談の充実

【 4人】【 2人】 0人
【 0件】【 0件】 0件

(5) 生徒の個性・能力の伸張

- ・部活動の奨励、学校行事の充実
- ・全国大会出場、全国レベルの表彰

【 8 】【 6 】 12以上

(6) 開かれた学校づくりの推進

- ・地域と連携した教育活動、および理数科の周知
- ・地域に信頼される学校づくり

(7) 働き方改革の推進

- ・[今年度の時間外勤務] < [昨年度の時間外勤務] × 0.9
- ・時間外勤務の実績を月45時間、年間360時間以内に収めるよう努める。
- ・各部で作成する部活動の年間活動計画を遵守する。
- ・週休日の登庁は控える。(必ず事前に登庁申請を行う)